

リアルタイム現地情報

波崎千両出荷組合青年部 先進事例研修を開催

令和4年7月4日（月）、5日（火）の2日間、波崎千両出荷組合青年部が福岡県及び佐賀県にて先進事例研修を開催し、当所職員のほか組合員7名が参加しました。

波崎千両出荷組合では、お正月飾りとして需要の高いセンリョウとワカマツを生産しており、神栖市（旧波崎町）の生産量は全国の約6割を占めています。本研修は、他産地の栽培事例や新技術を学び、自身の経営に活かすことを目的に行いました。

1日目は、福岡県糸島市のJA糸島千両研究会の生産者を訪問し、センリョウのほ場を見学しました。参加した組合員は、土づくりや誘引方法などの栽培管理や、病害虫対策について、視察先の生産者と活発に意見交換しました。

糸島市のセンリョウ栽培は、寒冷紗を用いた施設内で栽培している点が、神栖市（旧波崎町）の楽屋施設内での栽培方法と異なっており、組合員は様々な質問をする等、大変参考になった様子でした。

また、2日目には佐賀県佐賀市の切り花調製機械メーカーの（有）今村機械を訪問し、ワカマツにおける出荷調製作業の効率化に向けて、情報収集を行いました。

普及センターでは引き続き、地域の特産花きであるセンリョウ・ワカマツを栽培する経営体の育成に引き続き取り組んでいきます。

鹿行農林事務所 経営・普及部門（儲かる農業）

